

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	食道腫瘍における抗酸化酵素ペルオキシレドキシシン (PRDX) 4の機序解析研究
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 臨床病理学 助教 韓 佳
研究参加拒否 申込受付期間	2026年08月31日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いいたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2029年03月31日
対象者	2003年1月～2023年12月の間に、金沢医科大学一般・消化器外科学、消化器内科学において、食道がんに対する外科的治療（食道切除術）と内視鏡的治療（ESD/EMR）を受けた症例のうち、予後調査が可能であったもの。
当該研究の意義・ 目的	食道がんにおける酸化ストレス関連分子の役割を明らかにすることは、腫瘍の発生機序の理解を深める上で重要である。本研究により PRDX4 の機能的役割が明らかとなれば、酸化ストレス制御を標的とした新たな診断指標や治療戦略の開発につながる可能性がある。 また、PRDX4 の発現と臨床転帰との関連を明らかにすることで、予後予測マーカーとしての有用性を示すことが期待され、食道がんの個別化医療の推進にも寄与するものと考えられる。したがって、本研究は臨床的および社会的に重要な意義を有すると考えられる。 本研究の目的は、食道腫瘍における PRDX4 の発現およびその臨床病理学的意義を明らかにするとともに、酸化ストレス制御に関わる分子機構の解明を行うことである。 具体的には、食道腫瘍組織における PRDX4 の発現パターンを解析し、病理組織学的特徴、病期、予後などの臨床情報との関連を検討することにより、PRDX4 が食道腫瘍の発生・進展に果たす役割を明らかにすることを目的とする。
方法および研究で 利用する試料・情 報の取得方法	この研究では、上記期間中に手術により得られた病理試料を使用する。また年齢や性別、予後、病期分類等を含む、多岐に亘る臨床病理組織学的パラメーターを、本研究のために使用させていただく。それらを免疫染色し、解析することで、PRDX4について調べようと思う。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ない。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属す。
利用又は提供する 外部への試料・情 報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。

資料の閲覧及び研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があります、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定していません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 臨床病理学 韓 佳 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-2211 内線（25345）

作成日： 2026年04月21日